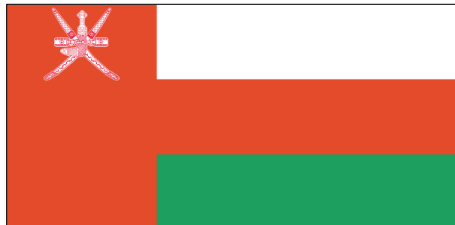


国名(日本語)	<b>オマーン国</b>
国名(英語)	<b>Sultanate of Oman</b>



国名の由来	古くからの地名をそのまま用いたもの。古アラビア語で「滞在地」の意味や人名が地名化したとの説がある。
国旗の由来	左上の紋章伝統的な太刀を交差させたものに、カンジャルとよば荒れるナイフとベルトを重ねたもの。スルタン(王)のシンボルで権威を示す。赤は数百年にわたりスルタンが使用した色で国の守りを、白は平和を、緑は農作物を表す。
1 面積	約30万9千500平方キロメートル(日本の約85%)
2 人口	442万人(2016年 オマーン国立情報・統計センター)
3 首都	マスカット
4 言語	アラビア語(公用語)、英語も広く通用する
5 宗教	イスラム教(イバード派が主流)
6 豆知識	日本に関心の深かった元国王タイムール(現国王の祖父)は、神戸滞在中に19歳の大山清子を見染めて、熱烈なプロポーズの末、結婚。昭和12年には王女が生まれた。現国王の叔母で、日本人の血を引くブサイナ王女である。以上のような縁もあり、中東では1、2を争う親日国である。